

子ども王国

だより



2010年4月発行 Vol.22



2010年3月13日撮影

●放課後学習支援事業「ゆめの木教室」

小中学生：月曜日～金曜日 午後2時～6時

●青少年の自立支援事業「そら」

水曜日：午後6時30分～8時30分

●青少年の健全育成のための事業

問題を抱えた子どもとその家族に対し

随時相談・援助を行なう

●交流会 奇数月第3土曜日午後6時～8時



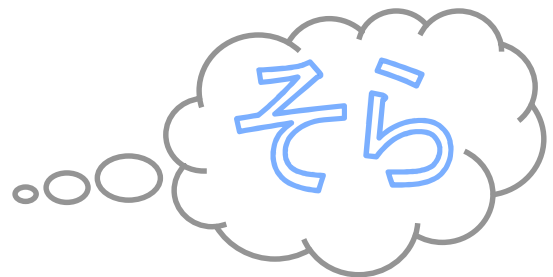
ゆめの木教室

平成21年 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」について

- ★ 「ゆめの木教室」では、漢字の習得が難しい外国籍の子どもたちに、「ゆめの木漢字検定」プリント（読み・書き）や漢字カードを使い学習を進め、「ゆめの木漢字検定」の月例テストも毎月実施しました。
- ★ 平成21年度学習支援では、子どもたちの語彙を増やすため、新たに「語彙シート」作成と短文づくりに取り組みました。
「語彙シート」は『ことばの絵辞典』から果物や乗り物などのページをコピーしてつくりました。子どもたちは、「やさい」や「のみもの」などのシートを見ながら言葉を覚え、嬉しそうにご褒美シールをもらっていました。
短文づくりについては、担当スタッフがノートに子どもが苦手な単語（例：てきぱき とぼとぼなど）を書き、毎日2つずつその言葉を使い文章をつくりました。はじめは国語辞典に書かれている例文を真似て書きましたが、少しずつ力が付き、とても上手に短文を作れるようになりました。

子どもたちの学年が一つずつ上がり、学習内容も難しくなります。なかなか学年相当の学力に追いつかないと感じることもありますが、子どもたちに必要な支援のあり方を求めつつ、毎日の積み重ねをたいせつにしたいと思います。

本年度「そら」では青少年が持つ能力を生かし、ボランティア活動にも参加しました。



- ★ 子どもサポーター実践共有ひろば2009「子どもの支援環境づくり」に、有償ボランティアとして参加しました。
- ★ 寄付されたポルトガル語の教科書や本を分別し、説明ラベルを貼り、神奈川県少年院に送るための分別作業をサポートしました。
特にポルトガル語のタイトルや小説の内容を、ポルトガル語ができないスタッフに代わり、的確にラベル付けをし、分別を行いました。
- ★ 仕事の空き時間に、「ゆめの木教室」にボランティアとして参加、子どもたちの面倒をよくみてくれました。

また、臨床心理士のスタッフがカウンセリングを毎月行い、青少年の悩みを受け止め、思わぬ出来事からの心のケア・回復の手助けもできました。カウンセリングの効果を目の当たりにし、グループワークだけでなく、個別の対応も大切な支援と認識しました。

昨年度に続き、日本語能力検定試験合格を目指し、多くの大人の方が「そら」で勉強されました。長く支援するうちに介護士を目指す人も現れて、学習の内容が広がったり、大人が真剣に勉強する姿に青少年も日本語能力検定試験を目指すようになったりするなど、意欲的な取り組みが見られました。

来年度も青少年に限らずいろいろな人との関わりを大切にし、幅広い年齢層の集まりの中で、自立支援を続けられたらと願います。

子どもの作品



いつも、はがぐらぐら。
ひまなときは、さわっちゃう。

いつ はが、ぬけるかな
はやくぬけてほしいな

なんにちぐらい
このは ぐらぐらするのかな

きょうでも ぬけたらいいな
はがぐらぐらすると じゃま

はやくぬけて ください



「ゆめの木教室」の2年生の女の子は
こんなに素敵な詩が日本語で書けるよう
になりました。

交流会

11月に現在それぞれの分野で活躍されている3名の保見中学校卒業生を迎え「先輩達から話を聞く会」を開き、1月にはヨーロッパ諸国を視察された講師を迎え「ヨーロッパの移民政策」について話を聴く機会を設けました。どの会も、保護者の方々や子どもたちは熱心に話を聴き、積極的に質問もしてもらえ、充実した会になりました。平成21年度最後の交流会となった3月13日は、いつもの誕生会に加えて、「ゆめの木教室」を卒業される学生スタッフのお別れ会が行われました。今回卒業される方は5名で、皆さん精力的に「ゆめの木教室」を支えて下さった方ばかりです。交流会でもたいへんお世話になりました。準備の段階から当日の進行、その後の報告まで、私たちスタッフはすっかり彼女たちにお任せ状態でした。彼女たちが用意してくれたバースデーカードはとっても可愛らしく、子どもたちにも大好評でした。本当に彼女たちの存在なくしては、この交流会は続けられなかったに違いありません。そんな私たちと子どもたちの想いをこめて、お別れ会では一人ひとりに花束とみんなのメッセージ入りの色紙がプレゼントされました。保護者や子どもたち、スタッフからの温かい拍手を受け、一人ずつお別れのあいさつをしてもらい、最後に全員での集合写真を撮りました。笑いあり、涙ありのすばらしい時間を過ごすことができました。交流会が、子どもたちや保護者の方々とスタッフが関わりを深める場であることを再確認できた瞬間でもありました。強力な学生スタッフがいなくなってしまうけれど、きっと後に続く学生スタッフが現れて、この交流会を盛り上げていってくれることでしょう。今後もみなさまの協力を得て、情報提供の場であり交流の場としてのこの交流会を継続していきたいと思っています。



ゆめの木教室を卒業した スタッフからの メッセージ

「なぜそれを質問しないの。せっかく教育大学で勉強しているのに。」
スタッフの方に指摘を受け、私ははっとしました。私はいくつかボランティアに参加していましたが、どれも受身だったことに気付いたのです。言われたことに対して疑問も持たないで取り組んで、「参加していること」で満足している自分がいたことに気付きました。自分をとてもはずかしく思いました。それから、勉強していることや自分の持ち味をどのように活かせるのかを考え、行動するようになりました。「ゆめの木教室」にやってくる子どもたちは本当にかわいくてしかたがなかったです。子どもたちは元気いっぱい、強く、明るく、いつも私が元気をもらっていました。顔や名前をすぐに覚えて声をかけてくれ、本当に嬉しかったです。学習面では心配に思うところも多く、将来のことを考えてつい厳しく指導する場面も多かったです。それでも、子どもたちはへこたれることなく、毎日のように教室に通っていて本当にえらいなと思っています。振り返れば子どもたち一人一人とたくさんの思い出があふれてきます。子どもたちは、希望にあふれていて、この先にどんなすごいことが起こるか分からない未来の輝きに満ちてるように見えます。現実的な問題は厳しくさまざまな問題も抱えていますが、子どもたちはその存在自体が明るく、いつも心を暖めてくれます。私は、子どもたちが少しでも未来に可能性を広げて生きていけるように活動していきたいと思っています。「ゆめの木教室」の皆さんには本当にお世話になりました。ありがとうございます。これからも「ゆめの木」に関わっていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。



I さん

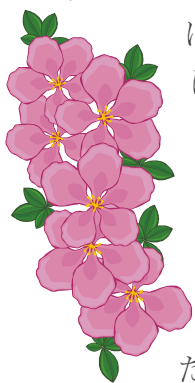
I may be able to come back ゆめの木 soon!!

いつもと変わらない教室の様子はどんなにか今日までの自分に勇気や励みになったことか。これからさまざまなかたちで恩返しができたらと思います。僕にとって「ゆめの木」の子どもたちは羨ましく、もしもこの頃に自分もこうした場が与えられていたならば…。そんな風なことを毎日思いました。井村さんの子どもたちへの思いのうえに、深見さんの大きな朗らかさ、福永さんの強くあたたかな言葉、山田さんの引き出しの多さ、鈴木さんの優しさ、等々、一つ一つを挙げればきりがありませんし、そうしたスタッフの思いが、まさに「ゆめの木」なんだなと実感致します。この3年間、本当にたくさんのことを学ばせて頂きましたし、多くの課題も頂けたように思います。Mの岩になった様子や、YやSの人懐っこい笑顔、Jの天真爛漫な明るさ、FやRやD…本当に素敵な子どもたちです。どの子どもたちもそれぞれに課題があり、心配でない子どもは一人としていませんが、そんな彼らに負けないように僕自身も頑張りたいと思います。本当にありがとうございます。では、またすぐ「ゆめの木」に戻って来ます!!



S さん

細く長くですが、3年ほど「ゆめの木」に携われたことを、とても嬉しく、誇らしく思っています。子どもたちが見せる態度は本当に勉強になりました。ある子には、そっけないけどかまってほしいがためにそういう態度をするんだなあ、ということを感じたし、またある子には、甘えたいけど上手く甘えられないのかな？と感じる子もいました。また、この子はよく喋って思ったことを伝えられるけど、あの子はできないんだなあ、と感じるなんてこともありました。そうやってそれぞれの子のことを知る度に、可愛くて仕方がないと思うようになりました。スタッフの方々とも本当に素敵な出会いがあり、とても感謝しています。皆さんが快く受け入れてくださったからこそ、のびのびとマイペースに続けられました。教師になったとき、皆さんのその対応の仕方を思いだし、励みにしたいと思っています。子どもたちやスタッフの方々との素敵な出会いがあったからこそ、私は「ゆめの木」で活動することができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。機会があれば、是非また遊びに行かせて頂きたいです。今まで本当にありがとうございました！



Tさん

私は大学2年の夏から、「ゆめの木」の活動に参加させていただきました。しかし、週に1度行けるか行けないかという頻度でしか活動に参加できませんでした。それでも「ゆめの木」に行くと、子どもたちは「なっちゃん！」と笑顔を向けてくれました。今思えば、子どもたちの支援に行くというよりも、私が元気をもらいに行っていたように思います。私は子どもたちの夢を聞くのがすごく好きです。キャビンアテンダントやモデル、パイロットなど、「ゆめの木」でも何人かの子どもの夢を聞きました。子どもたちが夢をもって学習できるのは、子どもたちにとって心を落ち着かせて学習できる環境があるからだと思います。私は、4月から愛知県で小学校教諭として働きます。「ゆめの木」で出会ったスタッフの方々のように、子どもたちの毎日のようすをしっかりと把握し、一人ひとりにあった支援を真剣に考えていきたいです。そして、いつも温かいスタッフの方々や、夢をもって学習する「ゆめの木」の子どもたちにまた会いにきます。本当にありがとうございました。



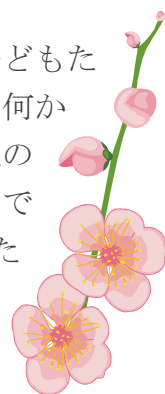
Mさん



「ゆめの木教室」での活動を通して、身も心も大きく成長していく子どもたちを見ることができたのは、私にとって、嬉しく、幸せなことであり、同時に大変勉強になりました。子どもの成長は一日で感じることはできません。「ゆめの木教室」ではいつでも「子どもたちのために」ということを第一に考え、最善の策を考えたり、学校や家庭と連携しながら子どもたち一人ひとりの理解に努めたりしています。そして何より教室には家庭的な温かさがあり、たくさんの大人達の目で子どもたちを見守っていかうという大変よい雰囲気があります。このように、子どもたちに対する熱い思いと

根気強い支援の積み重ねがあつてこそ、よりよい子どもの成長へと繋がっているのだということを強く感じました。「ゆめの木教室」に行けば元気で優しい子どもたちに会うことができ、知らず知らずのうちにみんなから元気をもらっていました。何か少しでも子どもたちのためになれたら・・・と想着ていましたが、いつの間にか私の方が助けられて、癒されていたようです。子どもたちの持っている力はすごいです！！最後に、「ゆめの木教室」のスタッフとして活動することができてよかったです。ここで学んだことや思い出は私にとって貴重でな宝物です。今まで本当にありがとうございました。

Yさん



卒業おめでとう

中学校では、勉強をがんばりたいです。授業中にたくさん手を挙げたいです。 Rさん



友達をいっぱい作って、勉強では数学と英語をがんばりたいです。 Eさん

芸術部に入って、勉強も部活もがんばりたいです。 Tさん



部活で練習試合に出て活躍できるようにがんばりたいです。国語の漢字もがんばりたいです。 Sくん